

## 南方占領地における切手

松元 和博

第二次世界大戦中に日本が占領した南方地域において発行した切手を出させていただきました。

発行された期間は、1942年から45年までの約3年半という短期間ではありますが、発行された切手は膨大で3500種を超えるといわれています。また、いまだに解明されていない部分も多く、偽造切手も多数発見されていて、蒐集が難しい分野とは思いますが、楽しんでいただければ幸いです。

切手の発行は、大まかに、(1) 現地の切手をそのまま使用した、(2) 日本切手をそのまま使用した、(3) 現地の切手に加刷して使用した、(4) 日本切手に加刷して使用した、(5) 正刷切手を発行した形式に分けられており、加刷切手については、発行地域（郵便局ごとにローカル発行した地域もある。）が多く、現地の郵便事情も異なっていることから統一的な方針で発行されているとは言えないため、多種、多様であり、また未発行のものや発見数が極端に少ないものがあります。初心者の私としては未蒐集のものが多数あり、これから、皆様のご指導、ご協力をいただいで充実していければと思っています。

## 表紙について

戦後の県名カタカナ入りローラー印は昭和24年から昭和34年頃まで使用された。東北郵政局管内では昭和44年まで使用した局がある。

昭和24年に金沢逓信局（後の北陸郵政局）および仙台逓信局（後の東北郵政局）昭和25年に大阪逓信局（後の近畿郵政局）で主に特定局で使用された。一部の普通局でも使用されている。

参考文献：日本郵便印ハンドブック（日本郵趣協会）

(南方占領地：ビルマ)

c III型



20

d IV型



22

(2) ヘンサダ局

a V型



23



24



25



26 (青黒加刷)



26 (黒加刷)



27



28



29



29a (逆加刷)



30



33



34



36



37

b VI型



40



41



42



43



44

日本の支援を受けたビルマ独立義勇軍が発行した切手

それまで占領していたイギリス切手の国王の肖像を、ビルマの国鳥であるクジャクで加刷抹消したもので、加刷には8種類のタイプがある。

(南方占領地：ビルマ)

[2] 日本軍政下発行 (カタログ Sak-JP:BU・2B)

(1) 矢野切手 (1962年発行)



11 (真正)



(偽造)

(2) 農耕5c加刷 (1942年10月15日発行)



13



(正刷切手：農耕1アンナ：12)

(3) 昭和切手への臨時加刷

a アンナまたはルビー加刷 (1942年9月22日発行)



23



23 a (逆加刷)



23 d (赤逆加刷)

(1) 矢野切手は、ビルマ郵政再建委員長矢野静雄氏の私印をイギリスの用紙に押捺したもので、国名も額面の記載もない世界でも類を見ない切手である。

偽造品がある。真正品と異なって、「野」のつくりの「予」の部分が鏡餅が重なったようになっている。

〔南方占領地：マライ〕

〔6〕 タイ占領下の切手（カタログ Sak-JP:MY・10M）

(1) 国名「タイ」表示切手（1944年1月15日使用）



1



2



3



4



5



6

(2) ケランタン紋章切手（1943年11月15日使用）



10

(1) は、タイが日本に協力することを条件にマライ北部4州を割譲したが、実際は日本軍の支配下であり、4州で使用するためにタイの国名が入った切手を発行したものである。

(2) は、ケランタン州で発行されたもので、中央の紋章は手押しである。額面がアラビア語なのは、この地域がイスラム教のためだが、バンコック製のタイ国名表示切手が発行され、短期間で発売中止となった。



(3) マライで発行された加刷切手である。ケラントン州の知事であった砂川陸軍少尉の私印やマライのゴム園で働いていた半田氏の私印で加刷されたものである。その他ペナン政庁の財務課長奥川氏や大沢洋行の内堀氏の私印で加刷された切手がある。

(4) マラッカ軍政部印加刷は、軍政部の公印で加刷してものだが、大型で田型4枚の切手に加刷されたものであるが、田型が存在しないものもある。



111 (郵便局支配人 Torialias のサイン)

g サルランゲン局



146 (郵便局長 Salim の頭文字 SLM のモノグラム)

h ルブリンガウ局



192 (郵便局長 Arifin の金指輪)

(9) バンカ島・ピリトン島 (カタログ Sak-JP:IN:SU・9S)



1A (紫加刷)



19 (紫加刷)



75 (赤加刷)



80 (赤加刷)

上部は、オランダ領東インド（スマトラ）パレンバン・ローカル加刷切手で、統一加刷切手も発行されたが、パレンバン市以外のローカル局で、郵便局長の指輪やサイン、モノグラムや角印など多数発行されている。

(9) は、スマトラ島東南沖合のバンカ島、ピリトン島で発行された角型木製印で加刷された切手である。

(南方占領地：オランダ領東インド)

d 北セレベス (カタログ Sak-JP:IN:NA・5N)



11B (日の丸)



17 (日の丸+いかり)

e 小スンダス列島 (カタログ Sak-JP:IN:NA・7N)



82 (黒)



103 (だいたい)



124 (赤)



134 (緑)

f ロンボック (カタログ Sak-JP:IN:NA・8N)



20 (いかり)



34 (大日本太陽加刷)

g 「民政部」加刷 (カタログ Sak-JP:IN:NA・12N)



24

オランダ領東インド (ジャワ) で発行された切手

f ロンボック太陽加刷は、1943年2月から4か月間しか発行されず、加刷は郵便物に貼られた切手の上に行われたので、すべてが使用済みである。

g 民政部加刷は、海軍担当地区で発行すべく準備したものだが、未発行に終わっている。